

第3期 大分市保健事業実施計画（データヘルス計画）

I 基本的事項 及び V その他

目的：生活習慣病の発症・重症化を防ぎ、被保険者のQOLの低下及び経済的負担を抑制するとともに、効果的・効率的な保健事業の実施を図ることを目的とする

期間：令和6年度～令和11年度の6年間

評価：毎年進捗管理・中間評価（令和8年）・最終評価（令和11年）

公表：ホームページにて公表

(1) 基本情報	全体	割合
国保加入者数(人)	81,613	100%
0～39歳(人)	17,264	21%
40～64歳(人)	23,573	29%
65～74歳(人)	40,776	50%

(2) 現状の整理

- ・被保険者数は毎年減少
- ・65歳以上が占める割合は増加

<前期計画の考察>

特定健診・特定保健指導実施率向上に努め、未治療者だけでなく、治療中の者に対する介入が必要である

II 健康・医療情報等の分析と課題

- ・平均寿命・健康寿命ともに県と同様に上昇傾向
- ・腎疾患の死亡率は国より高く、脳血管疾患は国が減少傾向に対し増加
- ・1人あたり医療費は、463,813円で、69,084円国よりも高い
- ・患者割合は、脳血管疾患4.24%、人工透析0.58%、糖尿病13.45%、高血圧症22.92%、脂質異常症21.18%で、いずれも増加傾向
- ・医療費割合は、虚血性心疾患1.51%・慢性腎不全（透析有）5.33%で国よりも高い

<特定健康診査・特定保健指導>

- ・特定健診受診率は33.4%、特定保健指導実施率は26.1%
- ・健診、医療情報ともになし（健康状態不明）の者の割合は31.6%
- ・有所見者割合(保健指導値以上)のうち、空腹時血糖値33.9%は国より特に多い
- ・メタボ該当者割合は、男性31.2%、女性10.9%
- ・リスク(血糖、血圧、脂質)2つ以上の者は受診者の半数以上

III 計画全体

	健康課題
A	腎疾患による死亡率・患者割合・医療費の占める割合が国より高く、人工透析の割合は中核市で上位の状況が続いている。また、人工透析の要因の約4割を占める糖尿病性腎症の患者数は増加傾向である。
B	生活習慣病3疾患（糖尿病・高血圧症・脂質異常症）のいずれも疾患患者割合は増加している。
C	特定健診受診者のうち、服薬ありかつ重症化リスクが高いと思われる値を呈すもの（HbA1c7.0%以上、2度以上高血圧）の割合が多い（コントロール不良者が多い）
D	特定健診受診者のうち受診勧奨値以上の者は58.7%である。「受診勧奨値以上かつ服薬なし」の者の割合は、血糖36.4%、高血圧54.8%、脂質89.0%であった。またCKDステージがオレンジ以上の者で、「慢性腎臓病」に関するレセプトの無い者の割合は66.5%で、未治療の可能性がある。
E	特定健診受診者のうち、重症化リスク（血糖・血圧・脂質）を2つ以上重複して保有している者が多い。同様に、メタボリックシンドローム（予備群含む）の割合も増加している。
F	特定健診受診率が低く、健康状態が把握できていない被保険者が多い
G	重複処方（133人）・多剤処方（226人）に該当する薬効としては、精神抑制薬が最も多い。

計画全体の目標

生活習慣病の予防に取り組む事で、医療費の伸びを抑える
生活習慣病重症化（腎疾患・脳血管疾患・虚血性心疾患）を防ぐ
医療機関への早期受診・適切受診をすることで、生活習慣病・慢性腎臓病の進行を防ぐ
健診結果に応じた生活習慣の改善に取り組む事ができる
特定健診の受診率が向上する

IV 個別事業計画

事業名
特定健康診査事業（特定健康診査等実施計画）
特定保健指導事業（特定健康診査等実施計画）
特定健康診査受診率向上事業
特定保健指導未利用者勧奨
糖尿病性腎症重症化対策事業
慢性腎臓病対策事業（CKDハイリスク対策・病診連携事業）
糖尿病等重症化予防事業（糖尿病等に係る未治療者・治療中断者受診勧奨含）
生活習慣病等重症化予防に係る普及啓発事業
重複・多剤該当者に対する保健指導事業